

丸山湿原群保全の会会報

(第 173 号)

発行日：2021 年 (R3) 12 月 15 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com



オミクロンて何？浅薄な知識の私にはよくわかりません！「新型コロナの変異のことや！」と言ってしまえば終わり。アルファ (α)・ベータ (β)・ガンマ (γ) デルタ (δ) と来たからその次か？ギリシャ文字の ABC らしい。() 内は小文字。いろいろ事情 (差別につながる?) があり順番通りに行かず「オミクロン (o)」になったとか。ちなみにデルタは 4 番目。オミクロンは 15 番目だそうです。ウイルスに名前を付けるのにも気を使うものですね。次はパイ (π) 円周率につかう文字。ちょっとだけ身近。最後がオメガ (ω) だからこれも使われることはないような？オメガの大文字は Ω 。時計ブランド。電気抵抗 (オーム= Ω) も。ファイ (ϕ) などよく使われる。意外に身近なギリシャ文字。でもオミクロンは知らなんだ！私だけ？

ギリシャの神話にちなんでつけられた星座名。その中のいちばん明るい恒星にもこの文字を充てるそう。例えば「**ハクチョウ座のアルファ (α) 星=デネブ**」。オミクロンで勉強になりました。

オミクロン株、どうなるのでしょうか。マスクは…大嫌い！私は。でも今や顔パンツとも???
(今住 12 月 14 日作成)

定期活動★11月28日(日)第4湿原刈り取り作業 残っちゃったよ！ 8名で作業

急に寒くなった 11 月。今年は雪が多いという予報も。ほんとかな？しかしこの日の朝は寒かった。なんと？氷まで。自分的には初氷となりました。例年がいつなのか覚えていませんが。

活動開始ごろには天気も良く寒さはそれほど感じず。昨年作業に入れなかった第 4 湿原の刈り取りです。1 年放置しただけですが、木本も結構生えてきています。(乾燥した個所) 又マガヤ・ススキもかさが高く、刈り取りに結構時間がかかりました。株が太るんでしょうか？結局この日は全体の 7~8 割の刈り取りと整理で終了。次回からは観察日も作業に切り替えて頑張りましょう。

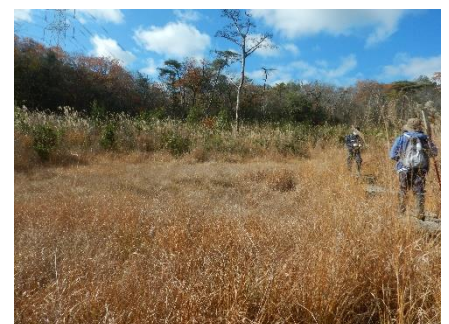
毎年ですが運び出しがね～ あーしんど…綺麗に片付けるのが目的ではありませんが、やりだしたら綺麗にしたいかな。環境の多様性と美しさの関係はどんなもんなんだろう？目的を見失わないように気を付けなくては。



放射冷却で初氷？



とにかく疲れる運び出し作業



又マガヤぼうぼうの第4湿原



片付け後 上写真と同じ場所

県民局長視察★12月2日(木) 阪神北県民局長ご来訪 (総勢4名)

今年8月に着任された和泉秀樹「阪神北県民局長」が視察?にられました。

知事が代わり、これまでの方針が大転換されるのではないかと県内で活動しているボランティア団体は戦々恐々。ひょっとして査定?密偵?なんちゃって。



和泉局長 この写真でごめんなさい

そんなことはないようで、県指定の天然記念物がどのようなものか実際に見てみたい、とのことでした。(FM宝塚出演に向けての予備知識収集も)

お人柄は大変温和な方で、実際に動くことを厭わないアクティブな感じ。写真をちゃんと撮らず申し訳ありません。変な1枚ですが掲載します。(全然わからんかな…)

和泉さんをもう少し知りたい方は下記 URL にアクセスしてください。毎月局長のメッセージが UP されています。知らなんだ。今月は「ジョンレノン～コロナ」。前月は「ワールドマスタースゲームズ 2021 関西～2026年に延期」。ご自身もハーフマラソンにエントリーされていたようです。着任は8月ですから臨時号からの担当です。えらい宣伝してますね。(ゴマすりゴマすり…) 環境がメインの仕事ではないと思いますが、すべてのベース。生物多様性をよろしくお願いいたします。お～やっぱり「すり鉢」の音が聞こえてくる。この会報も送ります…丸山の印象悪くなるか?

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/hnk01/kyokuchoukako.html>



たからづか市民環境フォーラム★12月4日(土) ZOOM開催 参加

毎年この時期に実施されているフォーラムです。コロナ禍で2年連続でZOOM開催となりました。昨年は機材の調子が悪く、フリーズの連続。今回はプロの力もお借りして大変スムーズに開催できていました。(私、開会の挨拶したの。前撮りで…)

基調講演に甲南大学名誉教授 田中修さんをお迎えし実施されました。テーマは「生物多様性・生態系サービス」。植物を中心に、絶滅の危機が何を意味するのか分かりやすくお話しされていました。人間も生態系の一部。「人と同じ仕組みで生きてきた植物が絶滅する!」ことは当然人間も…優しい語り口でしたが、実は結構ハードな内容だった気がします。

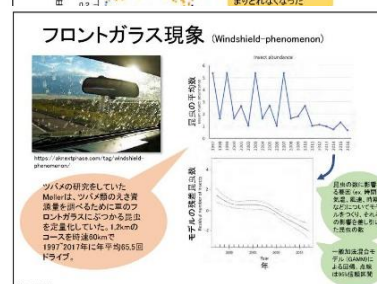
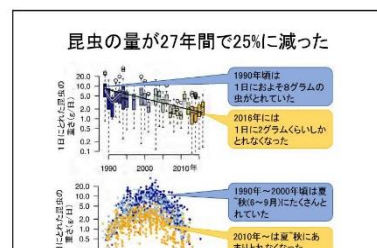
また薬草から得る恩恵。まだまだ未知の、「人」にとって役に立つ成分が見つかるはず、とも。種の絶滅はその可能性をどんどんすり減らしているとも。**コロナ禍の時代、新生物に対抗する手段も減っていくことに。**いろいろ学ばせていただきました。SDGs そのものや!



私が読んだ田中さんの本

武庫川流域圏ネットワーク報告会★12月5日(日)

こちら毎年行われている「ネットワーク報告会」。特別講演は神戸女学院大学名誉教授 遠藤知二さん。テーマは「昆虫の減少は私たちに何をもたらすのか～古くて新しい環境問題」。昆虫の量(種ではない)が27年間で75%減少。(スライドでは総量が25%)数年前、ヨーロッパのアマチュア昆虫研究グループ?が発表していたような…。日本でも同じ現象が起こっていることが発表されました。農薬無しで田んぼ作っていてもカメムシが少ないというのを実感しています。売る米としては助かるのですがやっぱりなど。フロントガラス現象も「そう



PPT スライドの一部

いえば・・・」。これは言われて「はっ！」と気づきました。

「たからづか市民環境フォーラム」での植物の話も然り。**植物・昆虫は食物連鎖の土台を支えている。絶滅・現象の原因はいろいろ。温暖化・農薬・開発もその要因でしょう。少なくとも人間の活動が大きな影響を与えているのは間違いないはず。**人類は滅亡へと自ら進んでいるのでしょうか？個人的にはやっぱりネオニコチノイド系農薬がいちばん番気になります。マイクロプラスチックもやね。(化学肥料のコート剤はプラスチック。分解型もあるそうですが・・・)

ネットワーク報告の概要は右側 QR コード「武庫川流域圏ネットワーク」のホームページ(行事)から確認できます。丸山湿原に対する「住民意識調査」もあり。(西谷地区は自治会から報告があると思います。)ぜひご覧ください。



<http://muko.jimdo.com/>

遠藤さんの講演スライドは、丸山湿原群保全の会 HP・blog に UP しておきます。もしよければこちらをご覧ください。(12月15日 UP 予定 武庫川流域圏ネットワークから PDF で配信されたものです)



定期活動★12月11日(土) 基礎調査 湿原内刈り取り作業 9名で活動

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山	48	8	入口	10:10	16.2℃		
ハイキング	26	53	第3湿原	10:29	【9.6℃】	35.9 μS/cm	7.1
散歩・登山	25	43	視点場	11:09	15.9℃	21.2 μS/cm	7.1
来場者数 203 計人 (竹筒ポスト人数)			第1湿原	11:00	【8.7℃】	36.8 μS/cm	7.2
			第2湿原	10:40	【6.4℃】	42.1 μS/cm	7.2

いよいよ師走。結局コロナコロナで2年が終わろうとしています。2020年の1月15日発行(150号)を見てみるとコロナの話題はなし。調べてみるとこの日1月15日が日本国内で最初の感染者が見つかった日だとか。(東京)

さらに会報を読み返してみると、次号でもコロナには触れる程度。2月末の両生類セミナーも普通に大盛況。マスクもなし。3月に入り急拡大で学校は休校。中学生やお子さん連れの平日来訪の記事も。ここらあたりからマスクに。マスク不足もこの時期か。まもなく丸2年。

「新しい生活様式」「with コロナ」などと言われ、「そんなんいやや！」と思っていたら、世間



賽の河原 一つ積んでは・・・ではなくカウント中

は「マスク外すのが恥ずかしい」「素顔を知らない」時代になってしまいました。たった2年。されど2年。特に未成年にとってこの期間は、出会ってから素顔を見たことの無い「友達」が多数いるのでは？オミクロン株が話題になっていますが、これからどうなるのでしょうか。ただの「風邪」になってくれることを願うばかりです。「古い？生活様式を！」願うばかりです。

おっと本題。12月に入ったので基礎調査日も湿原内の刈り取り作業を行います。前回の第4湿原残り第3湿原の刈り取りです。刈り払い機は5台。楽勝と思っていたら、第3湿原担当の3台中2台の調子が悪い。かかりづらい、アイドリングが下がらない。メンテナンス不足でした。チェックしておきます。なんやかんやで作業は両湿原



第4湿原の残り まだある

ポイ！場所からして、車を駐車してトランクからポイか？

わざわざここで捨てなくても。植木屋で買うと全て数千円はするでしょうに。いらなかったらごみですね。SDGsはどこに？昔から山はゴミ捨て場だったからね…分解されるものですが、もし定着するようなものなら生態系破壊へ。やめてよ！絶対！



カンスゲワタムシの蟻物質

わかるのか？井上靖の小説「しろばんば」も雪虫のこころらしい。なんかイメージ壊れますね。「しろばんば＝アブラムシ」。ちなみにアブラムシの名前の由来は、子どもがアブラムシをつぶし、頭に塗って(油の代わり)遊んだことによるとの説も。これもね～。やってみましょか？自然は不思議がいっぱいです。あまり知るとロマンが無くなることも。逆もまた真なりか？

協働が2つ実現する？ ★12月26日(日)北摂里山愛す会

1月8日(土)NACS-J自然観察指導員兵庫連絡会

ほぼ毎年ご協力をいただいている里山大学OB会「北摂里山愛す会」と、セミナーでもお世話になった野本さんが世話役をされている「NACS-J自然観察指導員兵庫連絡会」から協働の申し入れをいただきました。「愛す会」とは毎年1月末に計画していましたが、なぜか雪に悩まされることが多かった。そこで年末になりました。多数のご参加をお待ちしています。「兵庫連絡会」はお初！観察会を不定期で実施されています。先日もモズのはやにえでスッポン(亀)！を発見されていました。保全活動を知ることも重要と今回の協働となりました。さてどうなるか？

次回活動日 26日(日)〈協働〉2022年1月8日(土)〈協働〉1月23日(日)

とも片付かず。又マガヤ類の運び出しも疲れるし。まー今回のしくじりを糧にまた次回頑張りましょう。

湿原はさすがにもう花はなし。ヒメアカネ(姫茜)はまだ飛んでいました。毎年ですが頑張るねー。12月は例年より暖かい？

暖かいせいか、作業中「ブユ(蚋)」(西谷ではブト)が顔の周りに群がってきます。草の中に潜んでいるのでしょうか。少々刺されました。ひょっとしたら「コバエ(小蠅)」(メマトイの仲間)かも。ちょっと刺されたからやっぱりブユか？

最後に、**駐車場にいやなものを発見！**
なんと植木。「ヒバの仲間」「トネリコの仲間」「ヒイラギナンテン」「なんちゃらレッドスター？」鉢から抜かれて根ごと



植木の廃棄物

最後にちょっと変なもの。**寄生の世界**。ナキリスゲ(菜切菅)についてカンスゲワタムシ(寒菅綿虫)。実はアブラムシ(油虫)だそうです。ぱっと見はスゲにカビがついている、変な枯れ方をしているのではと思いますが、**白いのは「綿状蟻物質」というそう**な。ろうそくの蟻ね。カイガラムシやアオバハゴロモの幼虫なんかと同じように身を守る(多分？防水？)ために蟻を出すそう。よ～知らんけど。

アブラムシの生活環はややこしい。**特にカンスゲワタムシはややこしいらしく、全部クローンだそう**です。つまり雌しか存在しない昆虫。(アブラムシは一般的に一時的に雄が存在)しかも**カンスゲにはつかないからもっとややこしい**。ナキリスゲのみ。名前の付け方を間違えてます。「雪虫」の仲間と言えはわかる人にはわ